

【CL名】岩崎 さん 【解答者】ヤマチャン 【作成日】2023年10月28日 【作成時間】46分

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

相談者は、実家で経営する工場の役に立ちたいという思いから大学で経営学を学んでいるが、期待外れでも、即戦力となるため就職活動をしているが内定が出ず、成果が判らないと相談。

【設問2】1行目：良かった点、2行目：悪かった点 この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) 話し手であろう相談者自身の弱みに関することや半年前に亡くなったお父様の話しが聴けた点。
(悪) 現在行っている就職活動と相談者の持つ価値観についての深掘りが不十分だった点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ①問題 次の3点が問題と考える。(1)自己分析が不十分であることによる自己理解不足。
(2)実家の役に立つためにどうすべきかの計画が不明確であること。(3)コミュニケーション不足。
②その根拠 (1)キャリアセンターに相談するも「論理性に欠ける」と言われたことに対して「分からないうちに自分なりに頑張っている」。(2)「自分がないとかは言わない」と発言があるが「経営学部で学んでいることは期待外れ」。(3)「母とは話していない」「自分はどうすることもできない」。以上の発言を根拠とする。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

半年前に亡くなったお父様に対するお気持ちに寄り添いながら面話を進めることで、信頼関係の構築に努める。その中で、現在の就職活動についてもう少し詳しくお話しを伺うこととする。その上で、(1)「論理性に欠ける」ことについて深掘りし、応答することで内省を促し、自己理解を深め頂く。(2)実家の経営する工場について、どの程度理解しているのか質問することによって、大学で学んでいることが活かせるか気付きを与える機会を作る。(3)相談者の同意が得られれば、主にお母様と工場経営に関してコミュニケーションを取ることを促す。以上の内容で支援を行う。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述)解答用紙